

## ■ なぜ外国人をターゲットにするの？

現在、日本を訪れる外国人は年間 835 万人、その中の約 40%が『美味しい日本食を食べること』を旅行の目的としています。さらに日本に住む外国人は年々増加し、現在 210 万人にまで登ります。

国内の外国人市場は少子高齢化の波と反比例し着々と増えています。現に 1997 年にはたった 400 万人であった訪日外国人数は 2007 年には 800 万人を超えました。しかし世界的に見ると各国を訪れる外国人観光客の数では世界では 29 位に位置し先進国の中では極端に低いのです。日本の観光競争力（右図：世界フォーラムまとめ）は上位の欧米諸国に大きく引き離され、2009 年現在では先進国最下位の 25 位。しかし裏返してみると、これから訪日外国人数が伸びる可能性は十分にあるということであり、実際に日本政府は観光庁を設立するなど、国策として外国人を招き入れる動きを始めています。

### 「私の店には外国人のお客は来ませんっ！」

外国人の市場はここまで大きいにも関わらず、今でも多くのレストランでは英語メニューを作成していない、または必要と感じていないのが現状です。レストランオーナーさんとお話をしていると「私のお店には外国人のお客は来ません」や、「外国人客の必要性を感じない」とおっしゃる方が多くいらっしゃいます。この言葉の裏には、言葉が通じないお客さんへの接客に自信がなかったり、トラブルを避けたい気持ちが働いていると考えます。そういった中で、知らず知らずのうちに「外国人お断り」のような雰囲気が出てしまっていることは考えられませんか？

日本人であっても、外国人であっても、お客様には変わらないという気持ちがあれば、お客様が増える事を望まれない方はいないはず。その最初の一步として、きちんと訳された英語のメニューを用意して、外国人客を受け入れる気持ちがあるお店である事をアピールすることができるのではないのでしょうか？

### 「食べに行きたくても…」 外国人の嘆き声に後押しされて

外国人が日本のレストランに入る際、まずは、安心して入れるお店かどうかを確かめます。英語メニューがないレストランの場合、ファミリーレストランやファーストフードなどの入りやすいお店や、英語の通じる外国人オーナーのレストランなど、お決まりのお店の中をグルグル回っているのが現状です。

しかし、新しいレストランを発見する事を楽しみにしている外国人も多いのです。そういった人々に対して、パーフェクトな英語のメニューがあるお店を紹介することは、まさに必要とされている情報を提供する場となるのです。

### 私たちは、翻訳会社ではありません

私たちは対欧米系外国人マーケティングのプロ集団です。外国人の視点で日本のおもてなしサービスを支援しています。残念ながら日本は観光競争力では先進国の中では上位に大きく溝をあけられています。その中で外国人対応にいち早く取り組み、在日外国人をビジネスに組み込んで共に成長をしたいという思いから、まずは正しく表現された英語メニューの必要性を感じ、この C P E M サービスを運営しています。

ご質問などございましたら、お気軽に [info@engmenu.com](mailto:info@engmenu.com) 又は 078-795-6875(月-土 10時~18時)へお問い合わせください。

2009年度	
観光競争力ランキング	
1	(1) スイス
2	(2) オーストリア
3	(3) ドイツ
4	(10) フランス
5	(9) カナダ
6	(5) スペイン
7	(8) スウェーデン
8	(7) 米国
9	(4) オーストラリア
10	(16) シンガポール
11	(6) 英国
12	(14) 香港
⋮	⋮
25	(23) 日本

世界経済フォーラム(スイス)まとめ  
( )内は2008年順位